

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 29 年 2 月 23 日 (2017.2.23)

【公開番号】特開 2014-235552 (P2014-235552A)
 【公開日】平成 26 年 12 月 15 日 (2014.12.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-069
 【出願番号】特願 2013-116455 (P2013-116455)
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 10/10 (2012.01)

G 0 6 Q 50/22 (2012.01)

【F I】

G 0 6 Q 10/10 1 0 0

G 0 6 Q 50/22

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 16 日 (2017.1.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンピュータが、

グループ宛に作成されたメッセージから抽出された情報に基づき、前記メッセージの担当者を前記グループに対応づけられた複数のメンバーから設定し、

前記メッセージを前記複数のメンバーそれぞれのメッセージリストに追加し、

前記担当者による前記メッセージの確認に応じて、前記担当者を除く前記複数のメンバーそれぞれの前記メッセージリストより、前記メッセージを除外する、

処理を実行することを特徴とするメッセージ管理方法。

【請求項 2】

コンピュータが、

前記担当者による前記メッセージの確認に応じて、当該メッセージの送信元での当該メッセージの確認通知のステータスを更新する

処理をさらに実行することを特徴とする請求項 1 に記載のメッセージ管理方法。

【請求項 3】

前記追加する処理は、グループ宛に作成されたメッセージを共通のメッセージ管理テーブルに登録し、前記複数のメンバーの何れかから最初にメッセージの受信要求があった際に、前記メッセージ管理テーブルに格納された前記メッセージをメンバー毎のメッセージ管理テーブルに登録する

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のメッセージ管理方法。

【請求項 4】

コンピュータが、

担当者とするメンバーが記憶された担当情報に基づき、前記複数のメンバーのうち担当者とされたメンバーの前記メッセージリストにおいて、担当者であることを示して前記メッセージを表示する

処理をさらに実行することを特徴とする請求項 1 ～ 3 の何れか 1 つに記載のメッセージ管理方法。

【請求項 5】

コンピュータが、

第 1 のグループのメンバーである第 1 の担当者が、前記第 1 のグループと異なる第 2 のグループ宛に作成した特定の案件に関するメッセージを、前記特定の案件に対応づけられた前記第 2 のグループの第 2 の担当者と対応付けて表示する

処理を実行することを特徴とするメッセージ管理方法。

【請求項 6】

コンピュータが、

前記メッセージが前記第 2 の担当者により確認された場合と、前記第 2 のグループのメンバーであって前記第 2 の担当者と異なるメンバーに確認された場合とで、送信済みメッセージリストでの表示態様を異ならせる

処理をさらに実行することを特徴とする請求項 5 に記載のメッセージ管理方法。

【請求項 7】

コンピュータに、

グループ宛に作成されたメッセージから抽出された情報に基づき、前記メッセージの担当者を前記グループに対応づけられた複数のメンバーから設定し、

前記メッセージを前記複数のメンバーそれぞれのメッセージリストに追加し、

前記担当者による前記メッセージの確認に応じて、前記担当者を除く前記複数のメンバーそれぞれの前記メッセージリストより、前記メッセージを除外する、

処理を実行させることを特徴とするメッセージ管理プログラム。

【請求項 8】

コンピュータに、

第 1 のグループのメンバーである第 1 の担当者が、前記第 1 のグループと異なる第 2 のグループ宛に作成した特定の案件に関するメッセージを、前記特定の案件に対応づけられた前記第 2 のグループの第 2 の担当者と対応付けて表示する

処理を実行させることを特徴とするメッセージ管理プログラム。

【請求項 9】

第 1 のグループのメンバーである第 1 の担当者が、前記第 1 のグループと異なる第 2 のグループ宛に作成した特定の案件に関するメッセージから抽出された情報に基づき、前記メッセージを担当する前記第 2 のグループの第 2 の担当者を前記第 2 のグループに対応づけられた複数のメンバーから設定する設定部と、

前記メッセージを前記複数のメンバーそれぞれのメッセージリストに追加する追加部と、

前記担当者による前記メッセージの確認に応じて、前記担当者を除く前記複数のメンバーそれぞれの前記メッセージリストより、前記メッセージを除外する除外部と、

前記第 1 の担当者のメッセージリストに前記メッセージを前記第 2 の担当者と対応付けて表示する表示処理部と

を有することを特徴とするメッセージ管理システム。

【請求項 10】

グループを構成する複数のメンバー宛に送信されたメッセージのうち、メッセージの確認を行なうと他のメンバーに対応する受信メッセージのリストから対応するメッセージを除外する処理が実行される対象のメンバー宛に送信されたメッセージについて、確認されたことを示すメッセージの管理状態への移行に応じて、前記複数のメンバーのうち前記対象のメンバー以外のメンバーに対応する受信メッセージのリストから前記メッセージを除外する、

処理を実行することを特徴とするメッセージ管理方法。

【請求項 11】

グループを構成する複数のメンバー宛に送信されたメッセージのうち、メッセージの確認を行なうと他のメンバーに対応する受信メッセージのリストから対応するメッセージを除外する処理が実行される対象のメンバー宛に送信されたメッセージについて、確認されたことを示すメッセージの管理状態への移行に応じて、前記複数のメンバーのうち前記対

象のメンバー以外のメンバーに対応する受信メッセージのリストから前記メッセージを除外する、

処理をコンピュータに実行させることを特徴とするメッセージ管理プログラム。

【請求項 1 2】

グループを構成する複数のメンバー宛に送信されたメッセージのうち、メッセージの確認を行なうと他のメンバーに対応する受信メッセージのリストから対応するメッセージを除外する処理が実行される対象のメンバー宛に送信されたメッセージについて、確認されたことを示すメッセージの管理状態への移行に応じて、前記複数のメンバーのうち前記対象のメンバー以外のメンバーに対応する受信メッセージのリストから前記メッセージを除外する除外部、

を有することを特徴とするメッセージ管理システム。